第３章　川崎遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

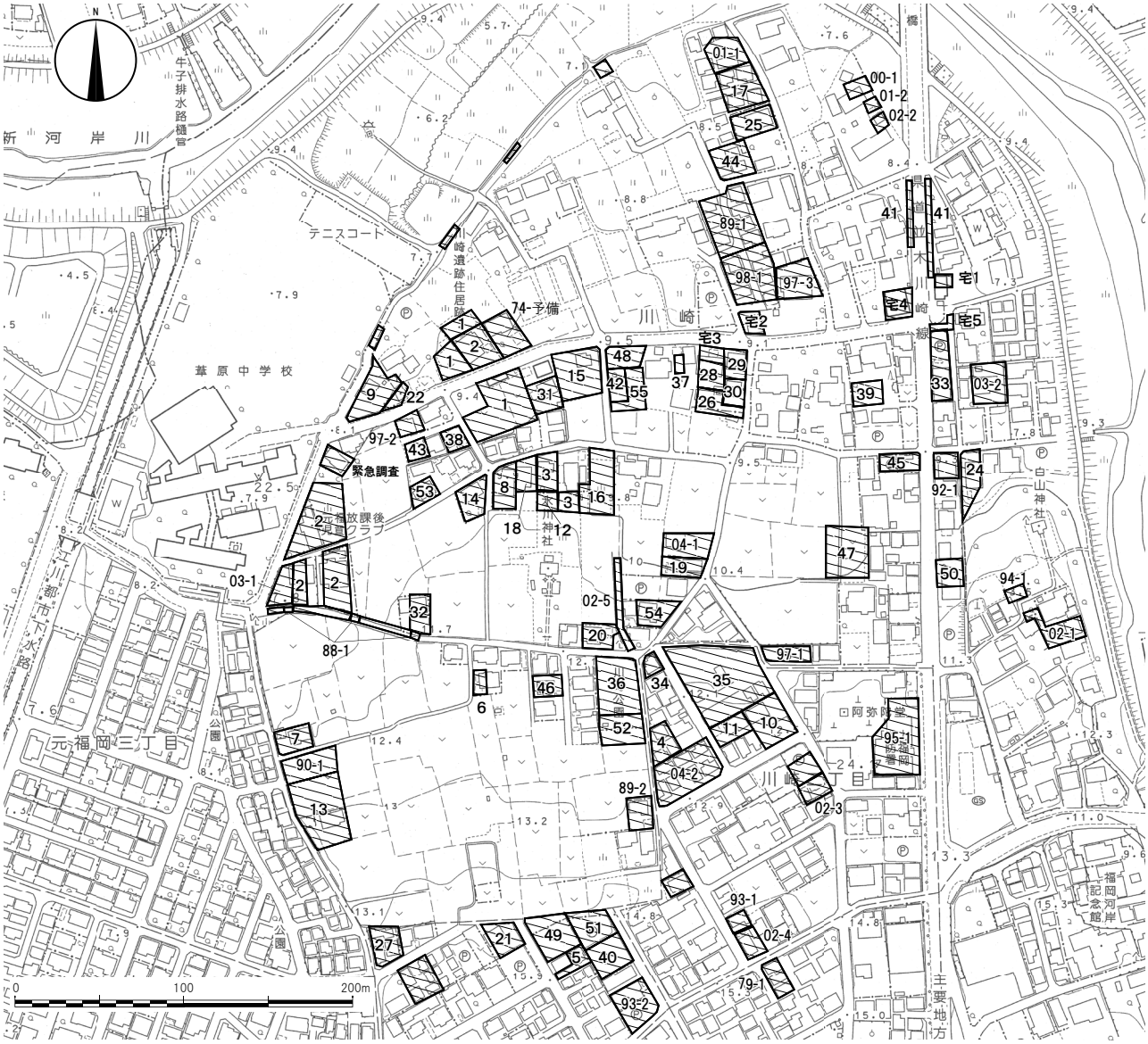
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は 400 ～ 500 m、台地の基部から先端へ 1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で 18 m、最北部では 8 mを測る。遺跡の範囲は南北 600 m、東西 500 m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正 6) 年頃、台地の先端部で貝層が確認され 1928(昭和 3) 年の調査では川崎貝塚として報告された。1967 年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2020 年 4 月現在 88 ヶ所で調査を行っている。

主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第 8 図　川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 11 表　川崎遺跡調査一覧表

地区地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ( ) は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
74- 予備	川崎 160	(1974.3.25 ～ 4.4)	84		事前調査	炉穴、土坑、ピット、縄文土器 等		上遺調
1 次	川崎 162 ～ 176	1974.7.20 ～ 9.19	1,800		事前調査	縄文時代住居跡 3、古墳時代住居跡 1、古代住居跡 7、焼土、集石、土坑、堀跡、溝、井戸、地下式坑、縄文土器、土師器 等		川崎 1 次
緊急調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30 ～ 5.10	198		個人住宅	溝、縄文土器 等		上遺調
宅 1	大字川崎字宅地添 122	1975.6.8 ～ 29	50		個人住宅	縄文時代住居跡 1、貝塚、縄文土器 等	宅地添 1 次 A 地区	上遺調
2 次	川崎 137 ～ 174	1975.9.4 ～ 12.5	3,055		事前調査	縄文時代住居跡 9、古墳時代住居跡 6、古代住居跡 10、炉穴、土坑、ピット、堀跡、溝、井戸、縄文土器、土師器、等		川崎 2 次
3 次	川崎 149-6	1977.11.1 ～ 12.3	300		宅地造成	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 6、柱穴、溝、縄文土器、土師器 等		川崎 3 次
宅 2	川崎 198	1978.5.15 ～ 25	170		宅地造成	土坑、ピット、遺物なし	宅地添 2 次 B 地区	上埋 I
宅 3	川崎 230	1978.5.23 ～ 31	130		宅地造成	井戸、溝、地下式抗、遺物なし	宅地添 3 次 C 地区	上埋 I
4 次	川崎 2-5-2	1979.4.19 ～ 5.11	304		宅地造成	縄文時代住居跡 1、ピット、溝、縄文土器 等		上埋 II ・IV
5 次	川崎 1-1-4	1979.9.26 ～ 10.10	152		宅地造成	溝状遺構、遺物なし		上埋 II
79-1	清見 4-3-11	(1979.11.12 ～ 19)	260		宅地造成	溝、縄文土器		上埋 II
6 次	川崎 102-5	1979.12.3 ～ 8	30		プレハブ家屋	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 2、縄文土器、須恵器 等		上埋 II
7 次	川崎宮前	1981.11.27 ～ 30	316		個人住宅	遺構なし、平安土器		上埋IV
8 次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17 ～ 26	400		住宅建設	溝、縄文土器		上埋VI
宅 4	川崎宅地添 219-2・3	1984.9.25 ～ 10.9	301		住宅建設	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、縄文土器、須恵器 等		上埋VII
9 次	川崎字宮後口 172-1・2	1986.9.11 ～ 20	495		個人住宅	溝、縄文土器 等		上埋IX
10 次	川崎 224-1	1987.11.24 ～ 30	603		個人住宅	溝、石斧		上埋X
11 次	川崎 2-6-2	1988.5.10 ～ 17	289		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 11
88-1	市道 402 号線	(1988.9.19 ～ 21)	60		下水道設置	遺構遺物なし		上埋 11
89-1	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10 ～ 18)	1,045		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 12
89-2	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3 ～ 6)	264		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 12
12 次	川崎字宮脇 149-4・5	1990.4.20 ～ 27	311		住宅建設	溝、遺物なし		上埋 13
13 次	川崎字宮前 122	1990.5.1 ～ 17	480		住宅建設	古代住居跡 1、土師器		上埋 13
90-1	川崎字宮前 122	(1990.5.18 ～ 23)	530		範囲確認	遺構遺物なし		上埋 13
14 次	川崎字宮脇 145-2	1990.10.1 ～ 31	499		個人住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、貝塚、須恵器 等		上埋 13
15 次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23 ～ 11.20	499		個人住宅	古代住居跡 7、土坑、緑釉陶器、墨書土器、石製紡錘車 等		上埋 14
92-1	川崎字山向 9-5	(1993.2.18・19)	168		店舗併用住宅	遺構遺物なし		上埋 15
93-1	川崎 2-2-10・11	(1993.8.24)	131		個人住宅	遺構遺物なし		上埋 16
93-2	川崎 1-1-1 の一部	(1993.9.10 ～ 13)	422		共同住宅	遺構遺物なし		上埋 16
94-1	川崎字台 258 外 1 筆	(1994.11.17 ～ 24)	230		機材置場	遺構遺物なし		上埋 17
95-1	川崎 2-7-2・3	(1995.10.13 ～ 16)	1,126		消防署	遺構遺物なし		上埋 18
16 次	川崎字宮脇 150-2・3	(1995.12.4 ～ 8) 1995.12.11 ～ 1996.3.8	828		駐車場 資材置場	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 4、古代掘立柱建物跡 6、竪穴状遺構、土坑、井戸、縄文土器		H7 上社、上埋 18、説明会資料「私たちの埋蔵文化財」
17 次	川崎字宅地添 204 の一部	(1996.7.8 ～ 12) 1996.7.15 ～ 23	779	(779) 130	宅地造成 個人住宅	古代住居跡 1、墨書土器、須恵器 等		上埋 19
18 次	川崎字宮脇 148-3	(1996.11.11・12) 1996.11.18 ～ 25	198		個人住宅	古代住居跡 3、土師器 等		上埋 19
97-1	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367		宅地造成	溝、遺物なし		上埋 20
97-2	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 20
97-3	川崎字宅地添 199-1・2・5	(1998.2.12 ～ 16)	780		個人住宅	遺構遺物なし		H9 上社
98-1	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27 ～ 11.6)	996		宅地造成	土坑、縄文土器 等		上埋 21
市道 402 号線 2 次	川崎字宮前 , 宮脇地内	2000.2.21 ～ 25	496		道路敷設	縄文時代住居跡 1		H11 上社
00-1	川崎字宅地添 209 の一部	(2000.6.19 ～ 22)	123.3		個人住宅	遺構なし、貝殻、縄文土器 等		上埋 23
01-2	川崎字宅地添 209 の一部	(2001.6.12 ～ 25)	100		車庫	溝、土坑、縄文土器 等		上埋 24
19 次	川崎字宮脇 157 の一部	2001.9.18 ～ 10.4	289		個人住宅	古代住居跡 1、土坑、土師器 等		上埋 24
01-1	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29・30)	825		宅地造成	遺構なし、縄文土器片 等		上埋 24
02-1	川崎 249-1 の一部	(2002.5.13)	341		倉庫	遺構なし、縄文土器 等		上埋 25
02-2	川崎 210-1・2 の一部	(2002.10.28・29)	551		共同住宅	溝		H14 上社
02-3	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
02-4	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
02-5	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164		市道 401 号線	遺構遺物なし		H14 上社

地区地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ( ) は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
03-1	川崎 137-1 の一部	(2003.8.6・7)	257		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 26
03-2	川崎字宅地添 226-16	(2003.12.8・19)	381		個人住宅	遺構遺物なし		上埋 26
宅 5	川崎字宅地添 222-3 先	2004.2.16 ～ 18	88		市道 381 号線	古墳時代住居跡 1、壷型土器		H15 上社
04-1	川崎字宮脇 157-1 の一部	(2004.6.14・15)	421		個人住宅	竈、土師器 等		上埋 27
04-2	川崎 2-5-1	(2004.11.1 ～ 4)	881		宅地造成	遺構遺物なし		上埋 27
20 次	川崎字宮脇 153-5	(2005.11.22 ～ 27) 2005.11.28 ～ 12.2	257		個人住宅	古墳時代住居跡 1、土師器		市内 1
21	川崎 1-6-10 の一部	(2006.4.11) 2006.4.14 ～ 20	298	(124)	個人住宅	古代住居跡 1、溝、縄文土器 等		市内 3
22	川崎 171-1、174-10	(2007.4.16 ～ 23) 2007.4.24 ～ 5.22	104	(104) 104	消防分団車庫	炉穴、土坑、溝、地下式坑、穴蔵、墨書土器、瓦塔、花瓶 等		市内 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	(26)	共同住宅	溝、土師器片		市内 4
25	川崎字宅地添 203-1 の一部、203-3 の一部	(2008.4.14) 2008.4.15 ～ 17	1,033	(55)	個人住宅	古代掘立柱建物跡 1、土坑、ピット、溝、地下室、灰釉陶器、縄文土器 等		市内 6
26	川崎字宅地添 230-5	(2008.4.21) 2008.4.22 ～ 5.17	228		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ピット、井戸、墨書土器 等		市内 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15 ～ 21)	350	(112)	分譲住宅	土坑、溝、縄文土器 等		市内 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4 ～ 9) 2008.7.10 ～ 8.8	434	(160)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、溝、土師器 等		市内 6
29	川崎字宅地添 230-1	(2008.7.9 ～ 11) 2008.7.14 ～ 8.22	203	(108)	個人住宅	古代住居跡 2、土坑、ピット、溝、墨書土器、土師器 等		市内 6
30	川崎字宅地添 230-6	(2008.7.17) 2008.7.18 ～ 9.5	200		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ピット、溝、井戸、灰釉陶器、墨書土器 等		市内 6
31	川崎字宮後 161-1・5・6	(2009.10.28) 2009.10.28 ～ 11.27	304	(103)	個人住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 2、ピット、縄文土器、須恵器 等		市内 8
32	川崎字宮脇 140 の一部	(2011.2.24 ～ 3.2) 2011.3.4 ～ 25	396	(166.5)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、ピット、須恵器 等		市内 10
33	川崎字宅地添 226-5	(2011.4.14 ～ 21)	438	(135)	共同住宅	遺構遺物なし		市内 14
34	川崎 2-5-4	(2011.7.25 ～ 26)	117.8	(23)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 14
35	川崎 2-6-4 ～ 7・9	(2011.9.27 ～ 11.24)	1,924	(668)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、土坑、ピット、溝、縄文土器、須恵器 等		市内 14
36	川崎字宮前 100-1	(2011.12.15 ～ 26) 2012.1.10 ～ 17	1,096	(439) 22	公園整備	古代住居跡 6、土坑、ピット、墨書土器、須恵器 等		市内 14
37	川崎字宅地添 232-1	(2012.9.3)	1,298	(15)	個人住宅	遺構なし、須恵器		市内 15
38	川崎字宮後 165-3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	(25) 5	個人住宅	焼土、ピット、縄文土器 等		市内 15
39	川崎字宅地添 227-1	(2013.3.4・5)	1,121.33	(34)	個人住宅	遺構なし、縄文土器 等		市内 15
40	川崎 1-1-7	(2013.10.11 ～ 17)	447	(172.5)	共同住宅	遺構なし、陶器		市内 18
41	川崎 218-1 他	2014.8.1 ～ 10.31	419		道路	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 3、炉穴、土坑、ピット、溝、畝跡、縄文土器、須恵器 等		県埋文 420
42	川崎字宅地添 233-3	(2015.6.26・7.2)	200	(39)	集会所	古代住居跡 1、土師器 等		市内 22
43	川崎字宮後 165-5・8・9	(2015.6.26)	175.21	(20)	個人住宅	焼土、縄文土器		市内 22
44	川崎字宅地添 202-1・8	(2015.11.24 ～ 12.10) 2016.1.5 ～ 20	273.56	(124)	分譲住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 1、貝塚、土坑、ピット、溝、地下式坑、縄文土器、須恵器 等		市内 19
45	川崎字山向 8-4、7-7・8	(2017.2.22 ～ 24)	254.72	(55.65)	個人住宅	溝、縄文土器 等		市内 24
46	川崎字宮前 101-5、103-8	(2017.3.13)	199	(4)	個人住宅	掘り込み遺構、須恵器		市内 24
47	川崎字山向 15-1、16-1	(2017.12.19)	749	(5)	資材置場	遺構遺物なし		市内 24
48	川崎字宅地添 234-1	(2018.8.27 ～ 30)	266	(41)	個人住宅	縄文時代住居跡 1、ピット、溝状遺構、縄文土器 等		市内 25
49	川崎 1-1-5	(2019.2.7・8)	509	(106.41)	分譲住宅	根切り溝、縄文土器 等		市内 25
50	川崎字山向 10-4 の一部	(2014.9.8)	120	(20)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 20
51	川崎 1-1-6	(2019.5.8・9)	394	(97.14)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 25
52	川崎字宮前 99-1	(2019.5.22 ～ 24) 2019.5.28 ～ 6.19	635	(172.4) 82.5	個人住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、瓦片		市内 25
53	川崎字宮後 166-1・9 ～ 11	(2019.11.5・6)	212	(47.5)	分譲住宅	堀跡、縄文土器、陶磁器片		市内 25
54	川崎字宮脇 155-6	(2020.2.20・21)	313.62	(23.25)	個人住宅	遺構なし、泥面子		市内 25
55	川崎字宅地添 232-4、233-1 の各一部	(2020.3.16・17)	235	(22.35)	個人住宅	溝、須恵器片		市内 25

第 9 図　川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

Ⅵ　川崎遺跡第 53 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2019 年 8 月 27 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2019 年 11 月 5・6 日に試掘調査を実施した。

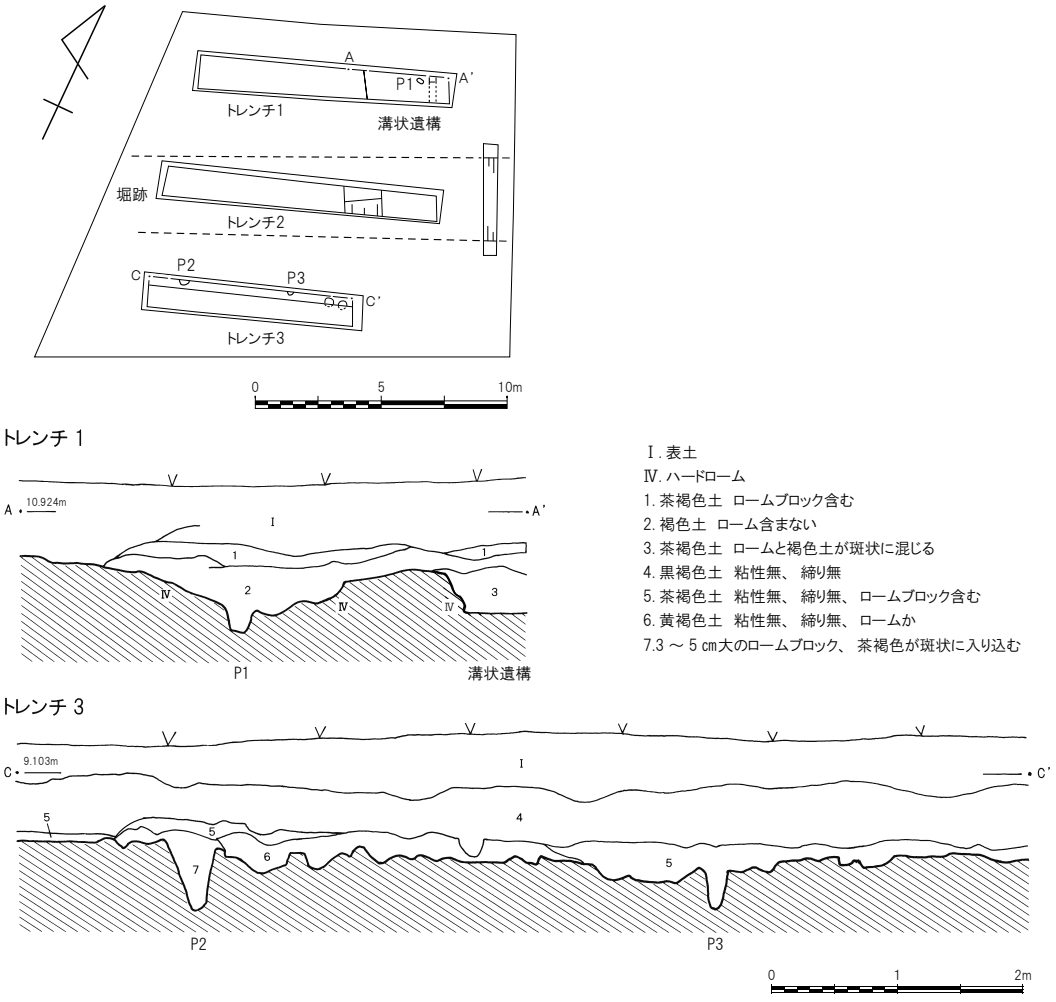
試掘調査は幅 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70 ～ 90 ㎝である。

調査の結果、中世以降と考えられる堀跡 1 本を検出した。保護層の確保が可能なため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

（2）遺構と遺物

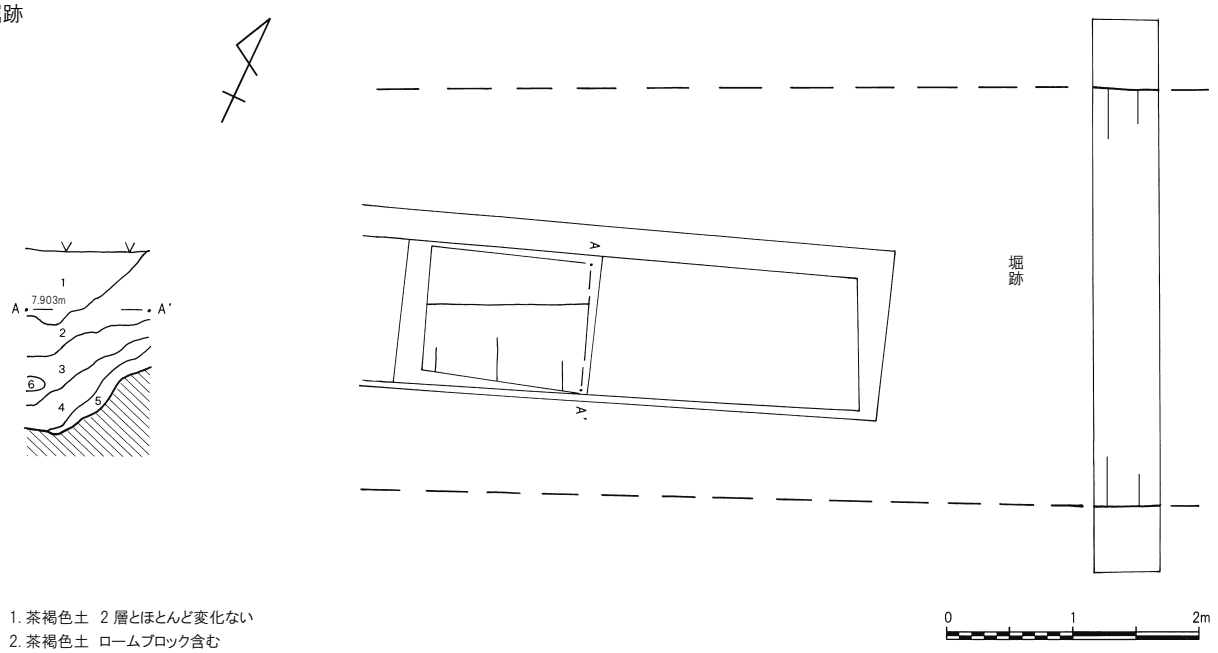
①堀跡

堀跡は調査区中央部のトレンチ 2 で検出した。東西方向に走行し、両端とも調査区外へ延伸する。保護層の確保が可能であるため全容は不明であるが、断面形態が薬研を呈する堀であったと考えられる。確認された遺構の規模は、上幅 330 ㎝、深さ 142 ㎝を測る。覆土の土壌分析については、附編に記載した。



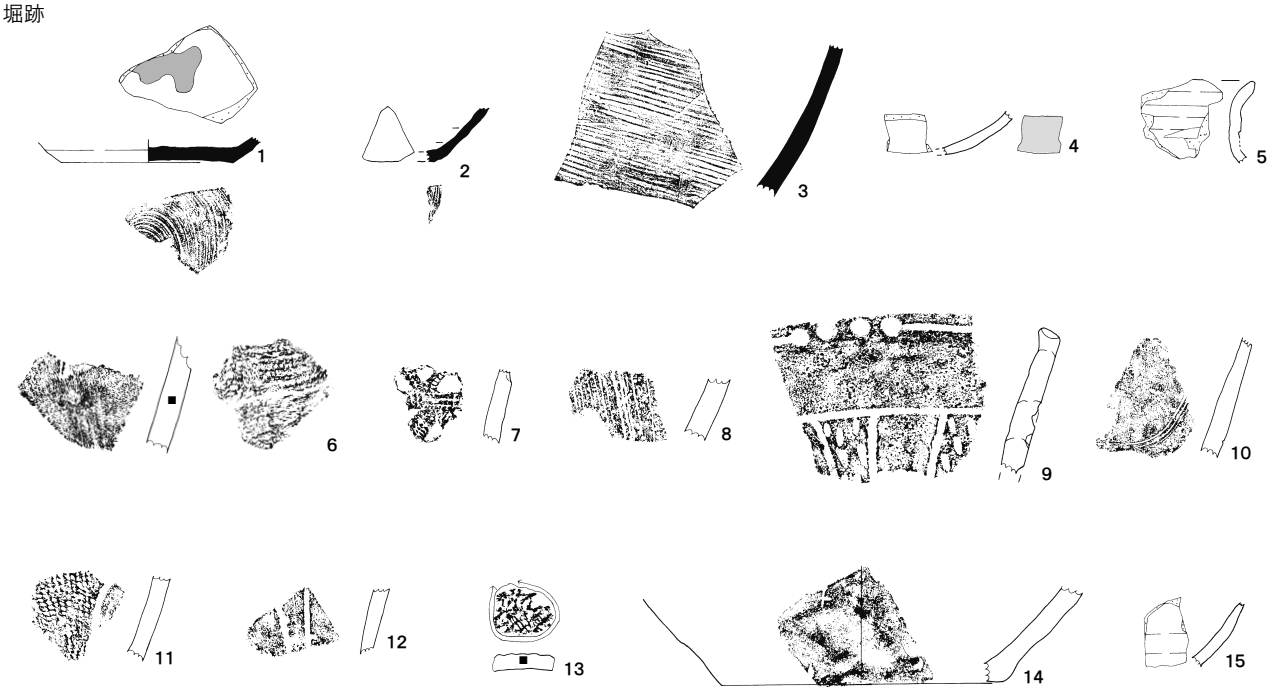
第 37 図　川崎遺跡第 53 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/60)

堀跡

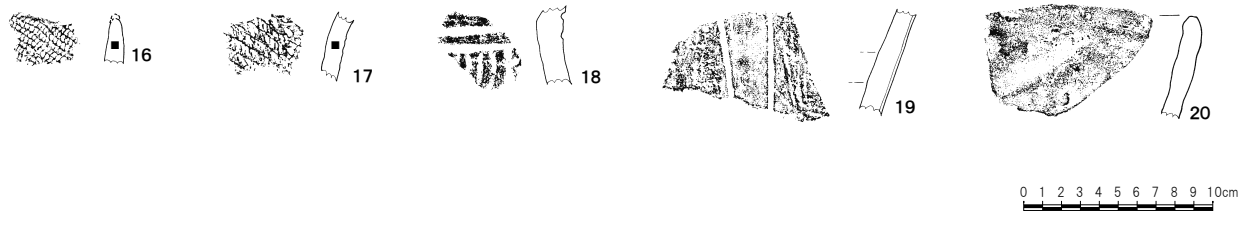


1. 茶褐色土　2 層とほとんど変化ない
2. 茶褐色土　ロームブロック含む
3. 暗茶褐色土
4. 黒褐色土　小石、 礫、 土器を含む、 特に床面際での出土が多い
5. 黒褐色土　ローム小粒子含む、 側壁からの流れ込みか
6. 茶褐色土　ローム粒ブロック塊含む

堀跡



遺構外



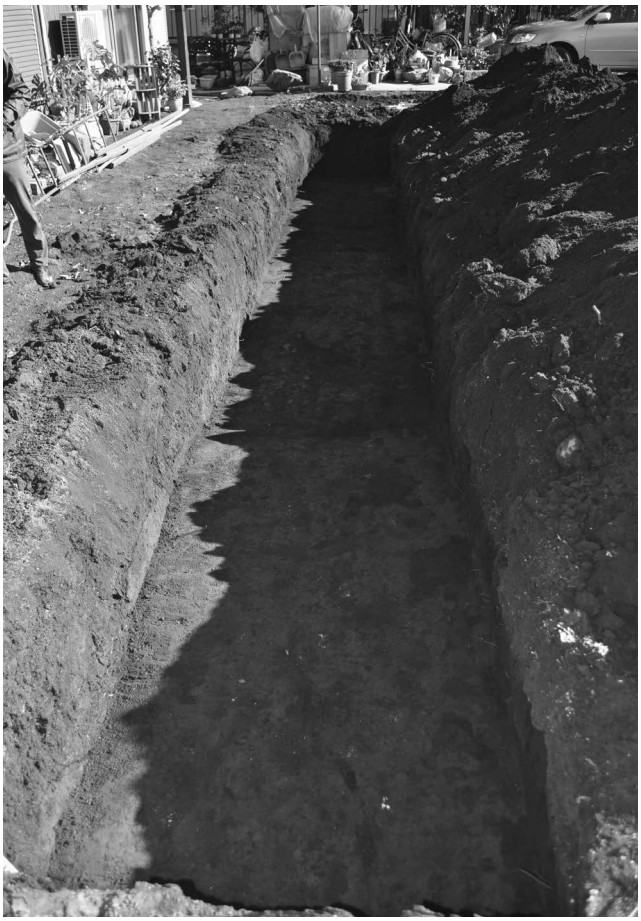
第 38 図　川崎遺跡第 53 地点堀跡 (1/60)、出土遺物 (1/4)

②出土遺物

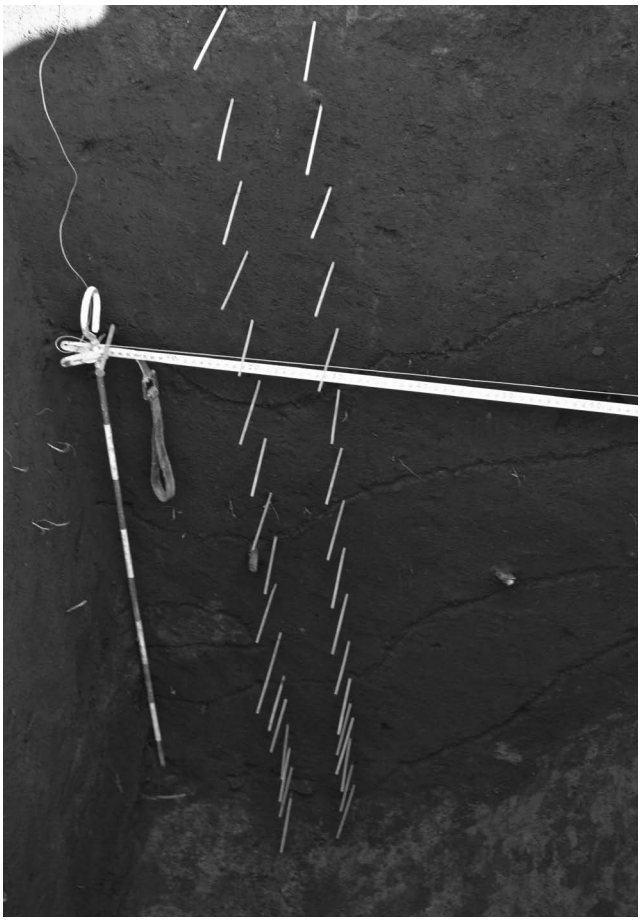
遺物は堀跡の覆土中並びに遺構外からの出土である。堀跡出土遺物は縄文土器から陶器片まで時期幅広く確認されており、堀の使用時期を決定するものではない。詳細については第 38 図及び第 21 表に掲載した。

第 21 表　川崎遺跡第 53 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第 38 図 -1	堀跡	須恵器・坏	轆轤成形、回転糸切り未調整・底径：9.0 ㎝、色調：5YR 6/6 橙色、内面に煤付着	9 世紀代
第 38 図 -2		須恵器・坏	轆轤成形・回転糸切り未調整・色調：10YR 6/4 にぶい黄橙色、焼成不良	9 世紀代
第 38 図 -3		須恵器・甕	外面：平行タタキ、内面：ナデ、色調：7.5Y 5/1 灰色、胎土に白色粒子を含む	9 世紀代
第 38 図 -4		土師器・坏	外面：ヘラケズリ、内面：ナデ、内面に赤彩、外面にも赤彩の痕跡有、胎土に白色粒子を含む	古代
第 38 図 -5		土師器・甕	頸部破片、内外面ナデ、胎土に黒色粒子を多く含む	8 世紀後半～9 世紀
第 38 図 -6		縄文・深鉢	胴部破片、内外面貝殻条痕文・胎土に繊維、白色粒子を含む	早期・茅山式期
第 38 図 -7		縄文・深鉢	胴部破片、半截竹管状工具による角押文・内面ハジケ、胎土に白色粒子を含む	中期初頭
第 38 図 -8		縄文・深鉢	胴部破片、地文条線文・内面ハジケ、胎土に白色粒子を多く含む	中期
第 38 図 -9		縄文・深鉢	口縁部破片、沈線による施文、縦位沈線間に列点文、口唇部に沈線と 4 つの円形刺突・内外面とも帯水による影響を受ける、胎土にチャート等砂礫を多く含む	後期・称名寺Ⅱ式期
第 38 図 -10		縄文・深鉢	胴部破片、集合沈線による施文・内面僅かにハジケ、胎土にチャート等砂礫を多く含む	後期・称名寺式期
第 38 図 -11		縄文・深鉢	胴部破片、地文 RL 縄文、沈線間磨消・内面僅かにハジケ、胎土に砂礫を多く含む	後期
第 38 図 -12		縄文・深鉢	胴部破片、2 本の縦位沈線・内面ハジケ、胎土に白色粒子、砂礫を多く含む	後期
第 38 図 -13		縄文・土製円盤	Rl、Lr 羽状・側面 2/3 を加工、胎土に繊維を含む	—
第 38 図 -14		土器・鉢	底部～胴部破片、推定底径：15.0 ㎝、内外面共に摩耗が激しい、胎土に長石等 5 ～ 7 ㎜大の礫を多く含む	中世以降
第 38 図 -15		陶器・碗	轆轤成形、透明釉・瀬戸・美濃産	近世以降
第 38 図 -16	遺構外	縄文・深鉢	地文 RL 縄文、波状口縁・内外面共に黒色化、胎土に繊維と白色粒子を含む	前期・関山期
第 38 図 -17		縄文・深鉢	胴部破片、地文 RL 縄文、末端環付か・断面黒色化、胎土に繊維と白色粒子を含む	前期・黒浜期
第 38 図 -18		縄文・深鉢	胴部破片、2 本の横位沈線下に複数の縦位沈線・内外面の摩耗が激しい、内面ハジケ、胎土に砂礫を多く含む	中期
第 38 図 -19		縄文・深鉢	胴部破片、2 本の縦位沈線・胎土に白色粒子を含む	中期
第 38 図 -20		土器・鉢	こね鉢口縁部、轆轤成形・内外面共に摩耗が激しい、胎土に長石等 2 ～ 4 ㎜の砂礫を多く含む	中世以降



川崎遺跡第 53 地点トレンチ 1



川崎遺跡第 53 地点土層サンプル

川崎遺跡第 53 地点堀跡

川崎遺跡第 53 地点出土遺物